

-----3月10日-----

※ 今週のアウトルック (3/10~3/14)

先週はクリミア情勢が懸念された状況には至らなかったため、全般的に円安が進みました。

また、週末の米国雇用統計は、予想を上回る好転を受けてさらに円安が進んでいます。ただ、発表後に大きく進んだ円安は、NY市場が終わるまでに半分以上戻して終了していることが、今週の相場にどう影響するか気にかかります。

先週ドル円は、クリミア情勢のやや安定化を受けて、全般的に円安が進んでいます。週末には米国雇用統計の予想以上の好転を受けて、104円台目前まで円安が進みました。

その後、NY市場では103円台前半まで戻す形となり終了しているため、クリミア情勢に対する慎重な姿勢が感じられます。

今週は円安が進んでも104円台までで、それ以上の円安はまだ難しい状況にあるのではないかと考えます。

ドル円の予想レンジは102.5円から105円です。

ユーロドルは1.38付近のレジスタンスラインを突破して、ユーロ高が進んでいます。クリミア情勢がやや沈静化に向っているため、このまま何も起きなければ、もう少しこのトレンドが継続すると思われます。

ただ、クリミア選挙の結果など、不安要素はまだまだ解消できないため、今週は神経質な動きになることも考えられます。

ユーロ円の予想レンジは141円から146円です。

ポンドドルは再び、1.68付近のレジスタンスに足踏み状態が続いています。今週このラインを突破できる可能性は、今のところ五分五分のようにも思いますが、リスクオン状況がより鮮明になった場合には、突破することも考えられます。

ポンド円の予想レンジは170円から178円です。

今週前半は、米国雇用統計の好結果を材料に、もう一段円安が進む可能性もありますが、週後半には、クリミア情勢などへの慎重な姿勢から、神経質な動きとなることも考えられるように思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。